平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名　シキボウ株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　3109　URL　http://www.shikibo.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 加藤　禎一
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長　(氏名) 清原　幹夫　TEL 06-6268-5411

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	22,627	6.8	1,461	40.2	1,025	142.9	679	―
23年3月期第2四半期	21,196	0.5	1,042	△4.1	421	△5.5	△356	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　784百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△307百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.62	―
23年3月期第2四半期	△2.94	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	91,186	27,087	28.6
23年3月期	90,600	26,564	28.2

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　26,049百万円　23年3月期　25,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	2.00	2.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	0.6	2,600	4.5	1,700	16.9	1,000	380.6	8.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	121,108,290 株	23年3月期	121,108,290 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	135,024 株	23年3月期	133,658 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	120,974,056 株	23年3月期2Q	120,980,469 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……３
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……３
２．サマリー情報（その他）に関する事項 ……３
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……３
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……３
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……３
３．四半期連結財務諸表 ……４
（１）四半期連結貸借対照表 ……４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……６
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……６
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……７
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……８
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）セグメント情報等 ……10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11
（７）その他の注記事項 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間の連結売上高は226億27百万円（前年同期比6.8％増）、営業利益は14億61百万円（同比40.2％増）、経常利益は10億25百万円（同比142.9％増）、四半期純利益は6億79百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

（繊維事業）

繊維事業では、原材料やエネルギー価格の上昇、円高の進行など著しく環境が変化し、国内需要は厳しい状況にありますが、グローバルな生産・販売体制の拡充とエンドユーザーに直結する商材の開発を推進してまいりました。

原糸販売分野は、前年からの綿花価格高騰による逼迫感から前半は国内需要が順調に推移したものの、後半は市況下落の影響を受けて販売が落ち込みました。

テキスタイル分野においては、国内および海外生産拠点の連携強化と安定した供給体制に注力し、当社独自の機能素材や差別化素材の取り組みを進めた結果、特にユニフォーム用途の素材販売が好調に推移いたしました。

製品分野では、カジュアル衣料が市況低迷の影響を受けましたが、独自性素材や付加価値製品は堅調に推移いたしました。また、生活資材関連では、新素材や機能加工による付加価値化が進展いたしました。

以上の結果、売上高は135億57百万円（前年同期比12.8％増）となり、営業利益は2億46百万円となりました。

（産業材事業）

産業資材分野では、製紙用ドライヤーカンバスは、東日本大震災の影響や洋紙を中心とした紙需要の低迷により、国内製紙会社の生産活動が低調に推移した結果、カンバス需要は減少いたしました。フィルタークロスは、国内製造業の生産活動が持ち直していること、また官公庁向けの受注が順調に推移したことから需要が増加いたしました。

機能材料分野では、化成品事業は食品用途の多糖類製品が猛暑効果のあった昨年に比べて受注が減少するとともに、化学品の輸出も鈍化した結果、販売が減少いたしました。複合材料事業では、震災の影響により電力関係用途のＦＲＰ部材の受注が減少いたしました。一方で、プリント配線基板事業は電子部品向けの受注が回復し販売が増加いたしました。

以上の結果、売上高は63億32百万円（前年同期比2.0％減）となり、営業利益は4億67百万円（同比16.2％増）となりました。

（不動産・サービス事業）

不動産賃貸事業は引き続き堅調に推移し、物流事業は取扱荷物量が増加したため好調に推移いたしました。一方、東日本大震災後の自粛ムードの影響によりゴルフ場の入場者が減少し、震災と台風12号の影響によりリネンサプライ事業の受注が減少いたしました。

以上の結果、不動産・サービス事業全体としての売上高は29億21百万円（前年同期比0.6％増）となり、営業利益は９億55百万円（同比1.0％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期末の総資産は911億86百万円となり、前年度末に比べ５億86百万円の増加となりました。これは、主に原材料高騰等に伴う棚卸資産の増加によるものであります。

負債は、640億99百万円となり、前年度末に比べ62百万円の増加となりました。これは、仕入債務及び未払法人税等が減少した一方、社債及び借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、270億87百万円となり、前年度末に比べ５億23百万円の増加となりました。これは、利益剰余金の増加及び為替変動に伴う為替換算調整勘定の増加等によるものであります。その結果、自己資本比率は前年度末に比べ0.4ポイント増加し、28.6%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の通期の予想につきましては、平成23年５月11日に公表致しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成23年11月８日）付公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,887	3,224
受取手形及び売掛金	11,190	10,986
有価証券	400	975
商品及び製品	4,218	5,296
仕掛品	1,796	1,942
原材料及び貯蔵品	1,199	1,547
繰延税金資産	381	414
その他	754	719
貸倒引当金	△94	△98
流動資産合計	23,733	25,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,778	40,644
減価償却累計額	△25,167	△25,435
建物及び構築物（純額）	15,611	15,209
機械装置及び運搬具	29,536	29,564
減価償却累計額	△27,172	△27,307
機械装置及び運搬具（純額）	2,363	2,257
工具、器具及び備品	1,540	1,525
減価償却累計額	△1,431	△1,423
工具、器具及び備品（純額）	109	102
土地	43,749	43,749
リース資産	1,690	1,451
減価償却累計額	△1,069	△905
リース資産（純額）	620	545
建設仮勘定	168	29
有形固定資産合計	62,624	61,893
無形固定資産	249	233
投資その他の資産		
投資有価証券	1,193	1,297
繰延税金資産	1,666	1,709
その他	1,445	1,339
貸倒引当金	△312	△295
投資その他の資産合計	3,992	4,050
固定資産合計	66,866	66,177
資産合計	90,600	91,186

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,367	5,880
短期借入金	17,145	16,369
1年内償還予定の社債	584	624
未払費用	608	574
未払法人税等	636	457
未払消費税等	108	74
賞与引当金	598	592
その他	1,900	1,864
流動負債合計	27,949	26,437
固定負債		
社債	1,012	1,255
長期借入金	12,131	13,523
繰延税金負債	1,144	1,148
再評価に係る繰延税金負債	8,398	8,398
退職給付引当金	3,902	3,968
役員退職慰労引当金	172	126
修繕引当金	179	189
長期預り敷金保証金	7,995	8,007
長期前受収益	379	357
その他	769	687
固定負債合計	36,087	37,661
負債合計	64,036	64,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	998	998
利益剰余金	3,608	4,046
自己株式	△21	△21
株主資本合計	15,921	16,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77	△13
繰延ヘッジ損益	14	△33
土地再評価差額金	11,893	11,893
為替換算調整勘定	△2,227	△2,155
その他の包括利益累計額合計	9,602	9,690
少数株主持分	1,039	1,037
純資産合計	26,564	27,087
負債純資産合計	90,600	91,186

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	21,196	22,627
売上原価	17,052	18,287
売上総利益	4,143	4,340
販売費及び一般管理費	3,101	2,878
営業利益	1,042	1,461
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	6	8
持分法による投資利益	8	49
雑収入	55	58
営業外収益合計	76	121
営業外費用		
支払利息	329	306
退職給付費用	73	63
為替差損	163	77
雑支出	131	109
営業外費用合計	697	558
経常利益	421	1,025
特別利益		
貸倒引当金戻入額	13	－
受取保険金	－	78
その他	0	3
特別利益合計	13	81
特別損失		
固定資産処分損	16	16
投資有価証券評価損	37	6
環境対策費	77	－
事業構造改善費用	341	－
その他	48	0
特別損失合計	521	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△86	1,084
法人税、住民税及び事業税	343	440
法人税等調整額	△115	△53
法人税等合計	227	386
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△313	697
少数株主利益	42	17
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△356	679

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△313	697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	64
繰延ヘッジ損益	△31	△49
為替換算調整勘定	27	79
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△7
その他の包括利益合計	6	86
四半期包括利益	△307	784
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△346	767
少数株主に係る四半期包括利益	39	16

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△86	1,084
減価償却費	1,059	1,038
長期前払費用償却額	15	16
のれん償却額	0	0
退職給付引当金の増減額（△は減少）	277	67
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△23	△45
修繕引当金の増減額（△は減少）	10	9
貸倒引当金の増減額（△は減少）	18	△12
賞与引当金の増減額（△は減少）	28	△5
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	329	306
為替差損益（△は益）	148	75
持分法による投資損益（△は益）	△8	△49
固定資産処分損益（△は益）	16	16
固定資産売却損益（△は益）	2	△2
投資有価証券評価損益（△は益）	37	6
売上債権の増減額（△は増加）	484	197
たな卸資産の増減額（△は増加）	△132	△1,575
仕入債務の増減額（△は減少）	747	△469
その他	127	△58
小計	3,040	585
利息及び配当金の受取額	12	13
利息の支払額	△315	△297
法人税等の支払額	△210	△576
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,526	△274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△305	△319
有形固定資産の売却による収入	0	5
投資有価証券の取得による支出	△202	△1
投資有価証券の売却による収入	200	0
貸付金の回収による収入	0	－
定期預金の払戻による収入	162	121
定期預金の預入による支出	△145	△121
その他	△9	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△299	△323

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,143	△869
長期借入れによる収入	4,210	5,000
長期借入金の返済による支出	△3,181	△3,515
社債の発行による収入	600	600
社債の償還による支出	△419	△317
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△239	△237
少数株主への配当金の支払額	△20	△18
その他	△151	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,345	504
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△4
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	860	△97
現金及び現金同等物の期首残高	4,323	4,012
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	―	9
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,184	3,924

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	繊維事業	産業材事業	不動産・サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,017	6,463	2,714	21,196	―	21,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	―	188	192	△192	―
計	12,021	6,463	2,903	21,388	△192	21,196
セグメント利益又は損失（△）	△68	402	965	1,298	△256	1,042

（注）１　セグメント利益又は損失（△）の調整額△256百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

２　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	繊維事業	産業材事業	不動産・サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,555	6,332	2,739	22,627	―	22,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	―	181	183	△183	―
計	13,557	6,332	2,921	22,811	△183	22,627
セグメント利益	246	467	955	1,669	△207	1,461

（注）１　セグメント利益の調整額△207百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）その他の注記事項

（追加情報）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。